

指定管理者事業報告書（令和3年度末報告）

令和4年5月27日 提出

担当課	文化課
-----	-----

施設名	三原市芸術文化センター ポポロ		連絡先	0848-81-0886
指定管理者団体	団体名	一般財団法人 みはら文化芸術財団		
	代表者名	代表理事 木川 眞		
	所在地	三原市宮浦二丁目1番1号		

1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数
館長	1人（1人）	0人	法人アドバイザー	1人（1人）	0人	法人担当・総務グループ	3人（1人）	2人
事務局長（副館長兼務）	1人（0人）	1人	事業企画グループ	3人（0人）	3人	舞台管理グループ	2人（0人）	2人
副館長（統括課長兼務）	1人（0人）	1人	地域文化事業グループ	2人（1人）	1人	受付グループ	5人（4人）	1人
常勤職員（合計）	11人		非常勤職員（合計）	8人				

## 2 開館日・開館時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】 $\alpha$	実績【年間実績】 $\beta$	達成率 $\beta \div \alpha$	自己評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開館日	R3. 4. 1～R3. 12. 28 R4. 1. 4～R4. 3. 31	R3. 4. 1～R3. 12. 28 R4. 1. 4～R4. 3. 31 (内8/30～9/10, 9/14～9/16, 9/21, 9/25～9/28, 9/30 新型コロナ感染拡大防止対策 の臨時休館, 6/24, 9/29, 12/15, 3/16 臨時休館)	93.0	A	A	臨時休館 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策21日間 ・設備点検等4日間 全て条例に従って実施されている。
開館日数(X)	359	334	93.0	A	A	条例に従って実施されている。
開館時間	午前9時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
延べ利用者数 (Y=a+b)	100,000	73,526	73.5	A	A	概ね計画に沿っている。
うち通常業務(a)	72,540	39,338	54.2	B	B	計画を大幅に下回っている。新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ない部分もあるが、利用者増に向けて努力が必要である。
うち自主事業(b)	27,460	34,188	124.5	S	S	計画を上回っている。
延べ利用日数(Z)	1489	1151	77.3	A	A	概ね計画に沿っている。
稼働率(②)	59.3	49.2%	83.0	A	A	概ね計画に沿っている。

※1 稼働率の計算式(単位:%)

① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式

利用者数(Y) ÷ 開館日数(X) ÷ 利用定員(1日あたり \_\_\_\_\_ 人) × 100

② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式

利用日数(Z) ÷ 開館日数(X) × 100

※2 稼働率欄の( )内には、使用した計算式に応じ、①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
ホール	197	計画なし	54.9%	167	27,853	50.0
ホワイエのみの利用	75	計画なし	20.9%	24	433	7.2
リハーサル室	215	計画なし	59.9%	140	2,990	41.9
練習室1	287	計画なし	79.9%	250	1,958	74.9
練習室2	287	計画なし	79.9%	261	1,807	78.1
会議室大	287	計画なし	79.9%	180	1,360	53.9
その他	141	計画なし	39.3%	129	37,125	38.6
合計	1,489	100,000	59.3%	1,151	73,526	49.2

別表2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日 221 日			土日祝日 113 日			通年 334 日		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
ホール	89	3,644	40.3	78	24,209	69.0	167	27,853	50.0
ホワイエのみの利用	13	143	5.9	11	290	9.7	24	433	7.2
リハーサル室	71	1,318	32.1	69	1,672	61.1	140	2,990	41.9
練習室1	165	1,411	74.7	85	547	75.2	250	1,958	74.9
練習室2	176	1,389	79.6	85	418	75.2	261	1,807	78.1
会議室大	114	741	51.6	66	619	58.4	180	1,360	53.9
その他	73	7,585	33.0	56	29,540	49.6	129	37,125	38.6
合計	701	16,231	45.3	450	57,295	56.9	1,151	73,526	49.2

### 3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価		
		評価	B以下の場合、改善・課題の具体的内容	評価	評価の内容	
1 施設管理体制	職員配置	A		A	適切に配置されている。	
	職員研修	A		A	適切に実施されている。	
	利用促進業務	A		B	新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ない部分もあるが、貸館利用者増に向けて努力が必要である。	
	設備・備品管理	A		A	適切に管理されている。	
	現金管理	A		A	適切に管理されている。	
	安全体制管理	A		A	適切に管理されている。	
	緊急時の対応	A		A	適切に対応されている。	
2 利用者に関する業務	利用状況	A		B	新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ない部分もあるが、貸館利用者増に向けて努力が必要である。	
	利用料金の設定	A		A	適切に設定されている。	
	接客対応	A		A	適切に対応されている。	
	個人情報保護	A		A	適切に実施されている。	
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A		A	適切に実施されている。	
	清掃等維持管理業務	A		A	適切に実施されている。	
4 実施事業	企画運営事業	A		A	適切に実施されている。	
	自主事業	A		A	適切に実施されている。	
	通常事業の内容	オリジナル情報紙発行	A		A	適切に発行されている。
		ホームページ運営	A		A	適切に運営されている。
		友の会／ポポロクラブ運営	A		B	会員増に向けて努力が必要である。
		公演チケット販売	A		A	適切に販売されている。
		佐古季暢子マンドリン・リサイタル	B	入場者数：46人（会場：ホワイエ） 緊急事態宣言期間中の開催であり、演奏会自体の企画、内容に問題はなかったが、ライブ配信関係の打ち合わせが十分でなかった部分があり、今後の課題となった。	B	試験的に実施したライブ配信について、ポポロスタッフ間の打合せが十分ではなかった。改善に向けて努力が必要である。
	Let's スタインウェイ	A	参加者数：37人	A	新型コロナウイルス感染症の影響により一部日程が中止となり参加者数が少なかったことはやむを得ない。	
	音楽のTOBIRA 歌とピアノの響き	A	入場者数：205人	A	ボランティアが中心となって行った事業であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。	
	自衛隊コンサート	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—		

「下野竜也×広響の日本音楽奇譚」 プレレクチャー	B	入場者数：27人（会場：リハーサル室） 緊急事態宣言が発出されたことにより、急遽オンラインでの講義に変更するなどの対応に追われ、広報活動が滞り、集客に結びつかなかった。様々なケースを予想して準備しておく必要がある。	A	緊急事態宣言が発出されたことにより、急遽オンラインでの講義となったが、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
田村響マスタークラス& ミニリサイタル	B	入場者数：99人 「下野竜也×広響の日本音楽奇譚」プレレクチャーと日程が重なったことで、スタッフの動きに支障が出た。今後は無理のない計画を立てる。	B	ポポロスタッフ間の打合せが十分ではなかった。改善に向けて努力が必要である。
小柳ゆきコンサートツアー	A	入場者数：389人	A	コンサート直前に「緊急事態宣言」が発出されたが、感染対策を徹底することで、感染者を出すことなく開催できたことは評価できる。
ピアノ・バトル	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	
Let's ホワイエ	A	ほっとできるおはなし会 入場者数：98人（会場：ホワイエ） ミハラシアン・プラスコンサート 入場者数：70人（会場：ホワイエ）	A	市民が中心となって企画した事業であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
古部賢一&加藤昌正則ア ウトリーチ	A	入場者数：287人（会場：宮浦中学校）	A	今後もアウトリーチは継続する事業であるため、公演内容等を工夫し、継続していただきたい。
小曽根真インリーチ	S	入場者数：530人	S	三原高校の全校生徒を招待し、メディアからも注目された企画であった。計画以上の成果を出せたと評価できる。
音楽との出会いⅦ 小曾 根真クラシック×ジャズ	A	入場者数：460人	A	世界で活躍するピアノ奏者のコンサートであり、来場者から好評であったことから、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
日本舞踊ワークショップ 弧の会と踊ろう！	S	参加者数：19人（会場：リハーサル室）	A	日本舞踊を体験する貴重な機会を小学生に提供する企画であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。

自主事業の内容

弧の会 コノカイズム三原公演	A	入場者数：370人	A	他館と連携して開催した事業であり、様々な広報活動を展開した点は評価できる。
Bella Luce ピアノデュオ	A	入場者数：56人（会場：ホワイエ）	A	若手音楽家に発表の機会を提供する企画であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
新しい音楽の風Ⅹ 辻彩奈 ヴァイオリン・リサイタル	A	入場者数：178人	A	「まん延防止等重点措置」の影響により、急遽ピアニストが変更となったが、迅速な対応ができた点は評価できる。
辻彩奈&福岡洗太郎 インリーチ	S	入場者数：19人	A	世界で活躍するバイオリン奏者の生の演奏を聴く機会を小学生に提供する企画であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
ヒラリー・ハーン ヴァイオリン・リサイタル	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	
ウィンターイルミネーション2021	A	入場者数：23,487人（会場：芝生広場、ホワイエ）	A	イルミネーションを設置するだけでなく、様々な企画を同時開催することで、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
みはら芸術祭（舞台部門）	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	
マリコとオペラ	S	入場者数：596人	A	「まん延防止等重点措置」の間中ではあったが、感染対策を徹底することで、感染者を出さず開催できたことは評価できる。
Let'sステージ	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	
ポポロで第九を歌おう	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	

共催事業	A	①古澤巖コンサート 入場者数：421人 ②谷村新司コンサート 入場者数：416人 ③ケロボンズ&福田りゅうぞう 親子コンサート 入場者数：311人 ④片山杜秀プロデュース「下野竜也×広響」 入場者数：279人 ⑤諏訪内晶子無伴奏ヴァイオリン・リサイタル 新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止 ⑥古部賢一 オーボエ・リサイタル 入場者数：291人 ⑦純烈コンサート 入場者数：773人 ⑧アンパンマンミュージカル（2回公演） 入場者数：1,614人 ⑨スターダスト・レビュー コンサート 入場者数：832人 ⑩金子三勇士マスタークラス&リサイタル 新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	B	市民にクラシックやポップス、子ども向け公演の鑑賞機会を提供したこと、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底することで、感染者を出すことなく開催できたことは評価できる。 共催者との契約について、今後は新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言等が発出される可能性を考慮する必要がある。
協力事業	A	オーケストラ・アンサンブル金沢 入場者数：183人	A	「まん延防止措置等重点措置」の期間中ではあったが、感染対策を徹底することで、感染者を出すことなく開催できたことは評価できる。
映画鑑賞会	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	
陶芸家・片山雅昭 ～炎と共に～	A	入場者数：581人（会場：リハーサル室）	A	「緊急事態宣言」の期間中ではあったが、感染対策を徹底し、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
七タプロジェクト	A	参加者数：285人（会場：芝生広場）	A	市民参加型の企画であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
こどものアトリエ	A	入場者数：94人（会場：リハーサル室）	A	継続的に創作活動ができる場を子どもたちに提供する企画であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
バックステージツアー	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	

ワークショップ リボンツリー	A	参加者数：17人（会場：リハーサル室）	A	幅広い世代の市民が参加できる企画であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
陶芸家・植田恭行の世界	S	入場者数：410人（会場：リハーサル室）	S	地域と連携することで、計画以上の成果を出せたと評価できる。
みはら映画祭	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	
みはら芸術祭（展示等）	中止	新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止	—	
こどものアトリエ作品展	A	入場者数：668人（会場：ホワイエ）	A	「こどものアトリエ」の作品を展示し、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。
ポポロ・ジュニア・スウィング・オーケストラ	B	参加者数：33人 例年であれば、小・中・高校生によるビッグ・バンドを編成し、月2回程度の定期セミナーを開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1年間で2回の定期セミナーのみであった。	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、練習及び発表の機会がなかったが、今後は対策を行い、活動を継続していただきたい。
文化ボランティア育成事業	A	参加者数：7人（会場：リハーサル室）	A	文化ボランティアへの接遇研修であり、概ね計画通りの成果を出せたと評価できる。

4 事業収支

		実施計画	決算	備考	市担当課評価
<b>【収入】</b>	合計	207,484,000	198,252,675		<b>【収入】</b>
	利用料金	24,453,000	16,215,305	施設利用料, 付帯設備使用料, 駐車場収入等	利用料金, 自主事業収入及び友の会会費が大幅に計画を下回っている。新型コロナウイルス感染症の影響があるため, 一律に評価できないが, 利用者及び会員増加に向けて努力が必要である。 各種補助金, 寄付金が計画を大幅に超えている点は評価できる。
	自主事業収入	26,170,000	10,336,490		
	指定管理料	151,760,000	154,651,530	新型コロナ支援金2,891,530円	
	委託料	0	12,352		
	その他	5,101,000	17,036,998		
	友の会会費	1,000,000	133,300		
	レストラン	2,058,000	1,811,267		
	その他	2,043,000	15,092,431	各種手数料(委託販売, 自動販売機, コピー代等)各種補助金, 寄付金	
<b>【支出】</b>	支出	207,484,000	197,494,669		<b>【支出】</b>
	人件費	56,892,000	56,726,599		計画範囲内に収まっており, 特に光熱水費に関しては, 随所で工夫が見られ, 節約に取り組んでいる点は評価できる。 税金等が, 計画を大幅に上回る支出となっており, 事業費が計画を下回る支出となっている。この項目については, 前年度も同様の指摘をしており, 早急な改善を求める。
	常勤	55,892,000	56,071,659	報酬, 給与, 賞与, 法定福利	
	非常勤	1,000,000	654,940	非常勤報酬, パート職員, 舞台臨時	
	事務費	14,918,000	19,697,734		
	消耗品費	2,100,000	1,921,487	一般消耗品, 舞台消耗品	
	備品購入費	0	1,147,712		
	その他	12,818,000	16,628,535	管理経費, 手数料, 雑費, その他	
	事業費	44,900,000	31,651,027		<b>【収支】</b>
	通常業務	6,735,000	4,855,802	広告料, ホームページ費, 印刷製本費, 賃借料	最終的な収支が黒字となっていることは評価できる。
	自主事業	38,165,000	26,795,225	文化事業費, 旅費交通費, 通信運搬費, 研修費及び諸会費	
	施設維持管理費	85,341,000	78,605,693		
	設備管理費	50,242,996	50,041,974	舞台建物, 音響・照明管理, 舞台保守	
	保安警備費	7,100,004	7,100,004		
	光熱水費	26,872,000	20,544,703	電気, ガス, 上下水道	
	修繕費	1,126,000	919,012		
	その他	5,433,000	10,813,616		
	保険料	300,000	287,640	公立文化施設賠償責任保険	
	税金等	5,133,000	10,525,976		
<b>【収 支】</b>		0	758,006		
	支出のうち委託費	59,241,000	61,179,728	設備管理費, 保安警備費, 清掃費, 音響照明担当	

## 5 利用者等からのクレーム対応等（具体的事例を簡潔に）

主な内容	回答	対応措置	対応に対する反応	検証
「まん延防止等重点措置」期間に公演を行うにあたり、開催の是非やチケットの払い戻しについての問い合わせや意見があった。	自主事業においてはすでにチケットを販売している公演は開催し、チケット販売していないものは中止とした。チケット払い戻しについては払い戻しに対応した。共催事業では払い戻しに応じる主催者と応じない主催者があったが、お客様に丁寧に説明し、対応した。	主催事業に関しては、お客様目線の対応を今後も継続する。共催事業に関しては主催者と事前に協議し、お客様目線の対応を求める。	公演開催の是非については、応援や安どの声が多く、開催に否定的な意見には丁寧な対応により、最終的には納得していただいた。払い戻し希望の方はそれに応じることで納得していただいた。	お客様目線の対応は非常に重要であるため、今後も継続を求める。
「純烈コンサート」の写真撮影に関して、お客様同士でトラブルが発生した。最終的には警察が関与する事態となった。	主催者の一員としてトラブル解決に向けて協力した。	今後は、主催者同士の情報共有を徹底し、お客様に分かりやすい情報提供に努める。また、トラブルを未然に防ぐ対応を心掛ける。	本件以降に、同様のトラブルは発生していない。	スタッフ同士の情報共有及び来場者への情報提供は重要である。今回の対応措置のように、「お客様同士のトラブル」で終わらせるのではなく、主催者としてトラブルを未然に防ぐ対応の継続を求める。

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

## 6 運営上の課題、市への要望等(ご自由にお書きください。)

内容	担当課回答
R4年度から、舞台管理スタッフのうち、照明専任のスタッフが不在となったため、今後は専門学校の新卒も視野に入れ照明スタッフを募集する。スタッフ確保が難しい時代になっていくことが予想されるため、財団のスタッフで対応していけるよう、若いスタッフを入れ財団で教育していく予定。	地元人材の育成に繋がるように取り組んでいただきたい。
R4.3.16の休館日に、ホールにてコンサート中に地震が発生したという想定で避難訓練を行った。訓練の流れや職員の動き、また行動の優先順位などが不明確であったため、問題点の多い訓練となった。今後は、より綿密に準備し、問題点を一つずつ解決して実際の有事の際に機能するための訓練とする。	災害はいつ、どこで発生するかわからないため、訓練で判明した問題点を一つずつ解決し、災害に備えていただきたい。

## 7 市担当課総合評価

- 1 自主事業の利用者数は計画を上回っており、評価できるが、通常業務の利用者数は計画を下回っている。新型コロナウイルス感染症の影響はやむを得ないが、通常業務の利用者増に向けて努力が必要である。
- 2 友の会「ポポロクラブ」は、公演情報の周知や集客につながるため、積極的に会員増に向けて努力が必要である。
- 3 光熱水費の節約は評価できる。今後も、節約しつつ、快適に利用できる空間を維持していただきたい。
- 4 収支が黒字であることは評価できる。今後は、利用者への還元も視野に入れつつ、事業を展開していただきたい。